



平成28年5月25日
 国立大学法人 山梨大学

平成28年度事業計画：山梨防災教育研究会

【事業の概要】

- (1) 実践的な防災訓練を全県的に普及展開させるための推進方策を検討する。
- (2) 県内の市町村を対象に調査を実施し、全県的な災害関連資料リストの作成を行う。
- (3) モデル学校を対象とした治水・砂防関連の防災教育指導事例の検討を行い、成果を教材化する。

【役割分担】

- (1) 県庁の役割：実践的防災訓練の普及推進策の検討。
 大学の役割：防災教育・啓発の効果的な教育・訓練手法の開発。
- (2) 県庁の役割：県内の災害・防災に関する市町村への照会、とりまとめ。
 大学の役割：災害関連資料リストの活用策の検討。
- (3) 県庁の役割：国土交通省等と連携した防災教育指導事例の作成と全県への展開方策の検討。
 大学の役割：モデル学校のアドバイザーとして助言・指導。
 国土交通省の役割：治水・砂防等の資料を提供するとともに、モデル学校との協働により防災教育の教材化を図る。

表 災害関連資料リストイメージ

| 書名 | 発行日 | 編集者 | 所蔵場所 |
|--------------|-------------|--------------------------|------|
| 山梨県砂防誌 | 平成9年3月 | 「山梨県砂防誌」編集委員会 山梨県砂防課内 | 砂防課 |
| 昭和41年災害誌 | 昭和46年9月 | 山梨県県民室 | 砂防課 |
| 昭和34年土木災害記録集 | 昭和38年4月 | 山梨県土木部 | 砂防課 |
| 昭和57年・58年災害誌 | 昭和61年3月 | 山梨県消防防災課 | 砂防課 |
| 明治40年大水害実記 | 平成13年3月 | 長田組土木(株) | 砂防課 |
| さぼうのおしごと | 平成25年3月 | 山梨県砂防課 | 砂防課 |
| やまなしの砂防 | 平成28年3月(予定) | 山梨県砂防課 | 砂防課 |

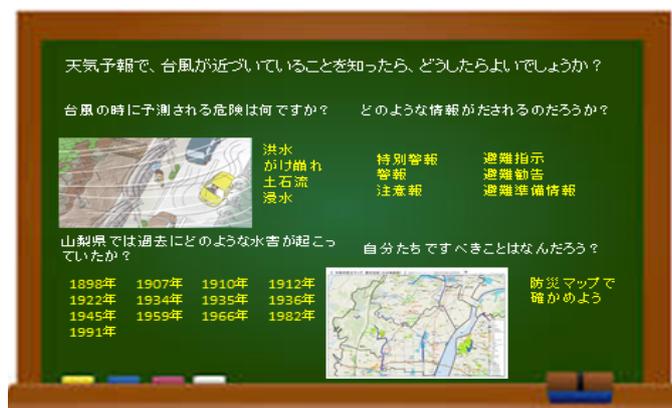


図 防災教育板書型指導案イメージ

平成28年5月25日
国立大学法人 山梨大学

平成28年度事業計画:道路橋の維持管理システムの高度化(2年目)

【事業の概要】

山梨県内における道路構造物(主として橋梁およびトンネル)を対象とした維持管理システムの高度化に向けた検討を行う。

- (1) 国, 県, 市町村による道路構造物の維持管理に関する地域連携のあり方について検討する。
- (2) 道路構造物のデータベースの構築と活用について検討する。
- (3) 構造物のより合理的な点検および性能評価システムの構築について検討する。
- (4) 構造物の効果的な対策システムの構築について検討する。

【役割分担】

- (1) 県の役割: 国および市町村との調整を行い, 地域の現状の把握と共通認識の構築を目指す。
- (2) 大学の役割: 維持管理に関する学会, 国, およびその他の地域における取組み事例等の情報提供を行うとともに, 維持管理に関する教育および技術的課題の解決に取り組む。

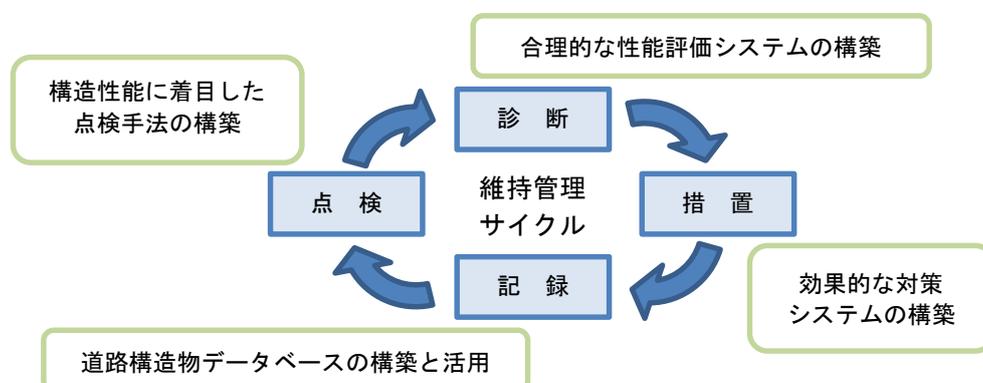


図 道路構造物の維持管理システムの高度化



山梨大学 工学部土木環境工学科附属

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

平成28年5月25日
国立大学法人 山梨大学

平成28年度事業計画：自主防災組織・活性化特別推進事業

【事業の概要】

- (1) 本事業の実施を希望し、かつ市町村からの推薦のあった組織に防災アドバイザー等の支援チームを派遣する。
- (2) 防災マップづくりや災害図上訓練など地域特性を踏まえた実践的な研修を実施し、モデルとなる自主防災組織の育成、及び優れた取り組みの紹介を行っていく。

【役割分担】

防災アドバイザーを中心に支援チームを構成し、研修・訓練を行う。

- (1) 防災アドバイザー（山梨大学・鈴木猛康教授、秦康範准教授、山下博史氏（県立防災安全センター長）のいずれか）
- (2) 防災士養成講座・修了者
- (3) 県（防災危機管理課、地域県民センター）
- (4) 市町村（防災担当者）



山梨大学 工学部土木環境工学科附属
地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

平成28年5月25日

国立大学法人 山梨大学

平成28年度事業計画：地域の発達と情報

【事業の概要】

山梨大学の学内融合研究「地域の発達」において、以下の研究を実施する。

- (1) 道路健全度評価システム（社会基盤の健全度評価）の開発（吉田准教授）。
- (2) 山梨県の景観情報や地盤情報などの収集、収集した情報を登録、利用できるクリアリングハウスの構築（鈴木教授、大山教授、後藤准教授）。
- (3) 高密度気象センサーを用いた土砂災害予測技術（荒木助教）。
- (4) ミュオンを用いた地下構造、コンクリート構造物のセンシング手法の開発（齊藤准教授、後藤准教授、荒木助教）。
- (5) 微動を用いた表層地盤の効率的なセンシング技術の開発（宮本助教）

【役割分担】

- (1) 大学はシステム開発、山梨県は検討サイト提供、評価、道路管理資料の提示。
- (2) 大学はデータベース構築、山梨県は地盤データ提供。
- (3) 大学はセンサー開発・センシング、山梨県は観測結果の評価、実用化に関する協力。
- (4) 大学はセンシング、山梨県はサイト提供、センシング結果の評価、資料提供。

道路健全度評価システム

